

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 大里 忠 弘

副会長 宮内 榮

幹事 金島 弘

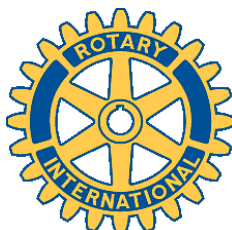
会計 金子 芳 則

2012～2013年度 RIテーマ

奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

2012～2013 RI会長 田 中 作 次



例会日時 毎週水曜 12:30～

例会場 銚子商工会館5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館内

電話 0479-25-3111(会館)

0479-23-0750(専用)

ファクス 0479-25-8789

e-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rcr>

第2733号(2012年10月31日発行)

今週のプログラム

『地区大会に参加して』

石毛 充 会員

佐藤 直子 会員

宮内 秀章 会員

前回の例会報告(10月24日)

点鐘: 大里 忠 弘 会長

ロータリーソング: 手に手つないで

会長挨拶

地区大会、朝早くから大変お疲れさまでした。銚子クラブからは15名の参加となっております。天候にも恵まれ会場の森のホール21もすばらしい施設ではなかったでしょうか。大会2日目の様子は後ほど卓話にてお話があると思いますので、ここでは幕張のホテルザマンハッタンにて行われた大会1日目の報告をいたします。

本会議は、ガバナー挨拶RI会長代理挨拶と続き地区の委員会による活動状況の報告、そしてRI会長代理の講演などが行われ、その後RI会長代理歓

迎晩餐会が催されました。盛りだくさんな内容で少々疲れる初日ではありました。

今回のRI会長代理は朴柱寅(パクジュイン)氏で韓国のスンチョンRC会員にしてRIの理事を努められており、職業は弁護士だそうです。講演内容は、田中作治今年度会長が掲げたテーマ「奉仕を通じて平和を」について、ここで掲げる奉仕とは、西洋の考えでは社会的に成功を収め持てる者は、持たざるものへの奉仕を必ず行わなければならない、社会からの強制であり義務であるが、我々アジアでは奉仕は誰でも自然に、自発的に行われるものであり、仁から湧き出るもの、慈しみ思いやりの心情であり感謝の念を持って行われるものである。人間が生きているということは他人と協力しあい、お互いが調和を取ろうとすることであり、人にしたことはいずれ自分に帰ってくる。徳目(儒教における仁、義、礼智、信)を体得しロータリーが唱えている平和、貧困の無い社会秩序がある世界を実現しなければならない。また得



第2790地区

ガバナー 得 居 仁 (松戸東RC)

会報委員

大岩将道、坂本尚史、越川信一

居ガバナーが地区のテーマと掲げる職業奉仕について、難しい哲学は無く、職業倫理を持って商売を営み、信用を得、顧客に喜んでもらえばよい。この職業奉仕を金科玉条にかかげているのは、ロータリーだけであり、我々が博愛団体として生き残るためには職業奉仕の考えは是非必要で守っていかなければならない、と講演の中で話されていました。

日本語は下手だと謙遜されていましたが挨拶、講演ともに流暢な日本語で語彙も豊富で素晴らしい講演でした。私にはたいへん充実した大会 1 日目でした。

会員の記念日

◇ 創業記念日おめでとうございます。

鴨志田 明 人 会員 (10月22日)

幹事報告

1. 週報拝受 ……小見川RC、鹿島臨海RC
2. 活動計画書拝受 ……小見川RC
3. 2012年11月のロータリーレート
1ドル=80円 ……ガバナー事務所
4. 第2回RAC合同会議開催案内
……ガバナー事務所

例会変更

旭RC : 11月23日(金) 祝日の為休会
11月30日(金) 夜間移動例会

お客様

◇ な し

会員スピーチ



◇ 栢尾 茂 会員

職業奉仕セミナーから「あるレジ打ち女性の話」を紹介して頂きました。感動的な内容でした。

授与式

◇ 米山功労者 第3回マルチプル

宮崎 裕光 会員



ニコニコ

◇ 伊藤 浩一 会員

たまに出席しないと忘れられそうなので、無理して出席しました。

<卓話>

《私の職業》

鴨志田 明 人 会員



ここにおいでの方の諸先輩方の前で、お話をするという事で最近では1番緊張しております。私自身について自己紹介をさせて頂きたいと思っております。

1959年、茨城県に生まれ、幼稚園に上がる頃に両親の都合で埼玉県に転居。その後は就職して東京のホテルに入るまで埼玉に居りました。私が住んでいた埼玉県入間市は以前米国の航空基地で、現在は自衛隊の同じく航空基地として知られている所です。子供のころは当たり前と置いていたのですが、頻繁(ひんぱん)にジェット機の爆音がし、学校の窓は全て二重ガラスだったり、今思うと普通ではない環境でした。そ

んな環境でしたが子供心にとっても楽しみな時期が年に何回か有りまして、その1つがちょうどこの10月のハロウィンの時期です。小学校の低学年でしたが、この時期が来ると、基地に勤めて居る日本人や、基地のアメリカ人を友人に持つ子供達は、その基地の中に入る事ができ、各家々でお菓子をもらい、自由に歩きまわれるのです。その時に見た「外国の家」は強いインパクトが有り、まるで映画のセットのようで、子供心にも憧れたのを覚えています。あの時知り合っていたアメリカの友人とずっと交流が有れば英語に苦労しなくて済んだのではないかと何度も英語の試験や授業で思い後悔したものです。(汗)

中学・高校とサッカーのクラブに所属して埼玉県大会常に初戦敗退の日々でした。水泳も夏季シーズンの大会に常に出場するも予選敗退と、サッカー・水泳は地元では少しだけ名前が知られていましたが、本大会では力を発揮できず「井の中の蛙」でした。高校卒業時には大学の推薦を学校から頂いておりましたが、自分がどうしても行きたい大学への思いが強く、浪人して翌年に受験する事と、家庭の都合も有り、1年間学費を貯めてから進学することを決め、高校卒業後知人の紹介でホテルでのアルバイトを始めました。ホテルのアルバイトを決めたポイントは、「食事ができる・時給が高い・長く働ける」でした。結局、ホテルサービスの仕事に魅力を感じて、これをより深く学びたいと思い、大学受験をやめて、一生の仕事としてホテルマンを選び、アルバイトを続けながら都内のホテル関係の就職活動を始め、就職致しました。

初めに配属されたのは、料飲課のコーヒーショップ(喫茶&アラカルト料理)の施設で配属当初から、F B部門の教育を受けると同時に接客マナーの厳しい指導を受けました。常にお客様が出入りしている場所だけに常連のお客様を覚え、好みも当然覚えなければならず、記憶力と状況判断が鍛えられ、この事がゆくゆくは店を任せてもらえる為の重要な勉強で有り、社員の第一歩でした。

2年が経つころ、料飲課のバーへ異動となり、お客様との接客トークを教えてもらおうと同時に、上司や先輩が以前勤めていたホテルに勉強の為にヘルプ配膳として行く事も増えました。

この職場では尊敬する先輩に出会いました。その先輩はフランスで本物のサービスや料理、またフランス語を勉強しつつ、5年間をフランスで暮らし、帰国されて間もない方でしたので、身近にこの先輩を見て、本物のウェイターとは「こういうものなんだ」と思い、勉強と酒を教わりました。

営業部門の稼ぎ頭だった課長の登場で、大学進学か就職以来、2回目の分かれ道に立つ事に成りました。案外すぐに納得して営業部宴会課への配属を受け入れました。宴会課での段取りや自分についているスタッフの扱いも慣れてくると、小さな会場から部屋持ちとして段々大きな会場を受け持ち、様々なお客様の要望に答えてきました。宴会課では、お客様からの信頼を得、予約課・調理場他全ての部署との連携を図り、イメージ通りの会場・宴会を仕上げる事に情熱を注ぎ、ホテルで最大のメイン会場を任される立場となっており、日々の仕事に達成感を感じておりました。

しかしまた、予期せぬ「人事異動」です。今度はホテルのメインダイニング、レストランでした。予約課で大きな1つのクレーム問題が起こり、これを宴会やレストランの経験を基に私が解決したことから、レストランに異動して1年数ヶ月で、今度は総合受付に異動となりました。お客様と初めて出会う所から、宴会や披露宴がお開きとなる時まで、これまでの経験がフルに活かされる場でした。個人対個人というまた違った接客を通してお客様に気付かせて頂ける場面も多くあり、自分自身の接客の幅が広がったように感じました。

接客の仕事に大いなるやる気と自信を持って進んでいた私に、今度ばかりは納得できない人事異動が下されました。接客とはかけ離れた管理部施設管理課です。しかし、異動から数日後、総支配人直々(じきじき)に呼び出され、この管理課への異動の意味を知らされました。9ヶ月後のホテルリニューアル工事の開始と、その2年後に予定されていたリゾート地での新規ホテル開業計画を内々に告げられ、これに向けてのプロジェクトチームのリーダーとして、総支配人の右腕となり、仕事をしてほしいという事だったので。納得できなかったこの異動でしたが、異動の実際の意味は、大きなプロジェクトチームに期待されて加わるという事がわかり、十分に納得し受け入れることができました。

まだまだ新しい経験は続きます。同系列ホテルの新規開業準備室に「総支配人付き」として転籍しました。あまりにもこれまでとは異なる分野で、かなりとまどった所もありましたが、現場のみならず事務方の仕事も経験する事ができ、30代後半にさしかかった私には、とても勉強に成りましたし、それからの職場でも大いに役立つ経験となりました。

その後姉妹提携をしている韓国のホテルが開業するにあたり、アドバイザーとしてソウル近郊のスアンポという村の開業間近のホテルに行ったり、カナダのバンフスプリングスホテルやホテ

ルレイクルーズに研修にもまいりました。

この一連の仕事でリゾートホテルでの仕事に興味を持った私は、開業から2年後に開業準備室当時から大変お世話になりました上司の総支配人が定年で退職されたのをきっかけに、長年お世話になった会社を退職し、和風旅館に支配人として転職致しました。

その後は、この広がった皆様との輪の中で、お声を掛けて頂いて、会員制リゾートホテル運営会社のホテル事業部に支配人としてお世話になり、既存のホテル運営・新たに買収したホテルの立て直しに携わったり、民事再生のホテルに総支配人として赴任し、立て直しの運営を任されたり、再建計画を軌道に乗せる重責を果たしてまいりました。

このようにホテルマンの現場の仕事から離れ、客観的にホテル業を外から見ているうちに、やはりホテルの現場で接客の仕事がしたいという気持ちが日に日に強くなり、今回ご縁を頂いて、この銚子という土地の太陽の里で仕事をさせて頂く事となりました。

わたくし事を長々お話させて頂きましたが、私が携わっている「ホテル・サービス業」はソフト面が最も重要な業種です。製造業などは新しい技術開発などのハード面が業績に反映されるのでわかり易いですが、逆を言えばサービスを通じてお客様を笑顔にしたり、幸せにする事ができれば、絶対に負けない企業だと思っています。

そのより良いサービスを提供する為にリーダーとして心がけている事は、

「やらされているではなく、自分からすすんでやる気持ちを常に持たせる事」

「時間という概念を常に意識し、必ずそれを守る事」

この積み重ねにより、良いチームワークができ、個人に智慧が生まれると考えています。

またその結果、クレームも減り、ホスピタリティを求めお客様に愛されるホテルになっていくと思います。

時間を守る事、支配人であっても自ら(みずから)すすんで動く事、スタッフを信じる事、これを実行しています。私を見てスタッフも実行してほしいからです。

もちろん企業として利益は大事ですが、現場では「奉仕」の気持ちも重要で、「お金を払っているから、やってあげている」では無い、自然な行いとしてサービスができるようになっていくと考えています。

ロータリークラブの皆様にも、ご助力を頂きながら、今後も頑張っまいります。

どうぞよろしくお願い致します。

◇ 久々のソングリーダー 石毛会員



【出席報告】

会員総数 40名 出席計算 38名

出席：28名 欠席10名 出席率 73.68%

欠席：阿天坊君・石川君・兒玉君・織田君・岡根君・大岩君・猿田君・島田君・杉山君・高木君

【M U】

地区大会 (10/21)

100%全員登録

石毛君・金子君・金島君・栢尾君・松本君・宮内(秀)君・宮内(龍)君・宮崎君・大岩君・大里君・佐藤君・信太君・杉山君・高瀬君・植田君

(参加 15名)

【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ 4,000	計	¥ 182,000
スモールコイン	¥ -	計	¥ 25,495
米山BOX	¥ 2,968	計	¥ 20,939

次週のプログラム (11月7日)

『 薬の飲み方について 』

千葉科学大学薬学部長
細川 正清 教授

お弁当：喜多川(ちらし)